

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島アンデルセン	階数	地上5F
建設地	広島県広島市中区本通7-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、集会所、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年1月23日
敷地面積	1,525 m ²	作成者	大成建設 傳法一成
建築面積	875 m ²	確認日	2019年1月23日
延床面積	3,425 m ²	確認者	大成建設 中藤泰昭



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.8

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.9	スコア = 2.6	スコア = 3.2
設計の計画段階に配慮した事項 / / / / 高炉セメントの採用 躯体と仕上材が容易に分別可能(OAフロア等) 内装仕上げ材はF☆☆☆☆を採用 / LCCO ₂ 排出量=96%	設計の計画段階に配慮した事項 / 駐車・駐輪台数の確保	設計の計画段階に配慮した事項 各種設備の配管、ダクトは耐用年数の長いものを使用 / 構造部材を痛めることなく修繕、更新ができるシャフト計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される